

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2004-214163(P2004-214163A)

【公開日】平成16年7月29日(2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-029

【出願番号】特願2003-136055(P2003-136055)

【国際特許分類】

H 01 H 13/702 (2006.01)

H 01 H 3/12 (2006.01)

【F I】

H 01 H 13/70 F

H 01 H 3/12 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月22日(2006.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】複数の椀状導体部材を載せた回路基板、各櫛歯部材を有する櫛歯状シート、及び各キートップを有するキートップシートを少なくとも重ねて、キートップシートの各キートップを各椀状導体部材上方に配置し、櫛歯状シートの各櫛歯部材を各椀状導電部材の略中心部に配置しあつ各椀状導体部材と各キートップ間に介在させたことを特徴とするキースイッチ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】キートップシートの各スリットの幅は、スリットの対向する一対の辺が接触しない幅であることを特徴とする請求項2に記載のキースイッチ。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明のキースイッチは、複数の椀状導体部材を載せた回路基板、各櫛歯部材を有する櫛歯状シート、及び各キートップを有するキートップシートを少なくとも重ねて、キートップシートの各キートップを各椀状導体部材上方に配置し、櫛歯状シートの各櫛歯部材を各椀状導電部材の略中心部に配置しあつ各椀状導体部材と各キートップ間に介在させている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

更に、本発明においては、キートップシートの各スリットの幅は、スリットの対向する一対の辺が接触しない幅である。